

情報誌 たかぎ

ホームページアドレス <http://www.vill.takagi.nagano.jp/> 電子メールアドレス info@vill.takagi.nagano.jp



阿島里山公園

県の元気づくり支援金を使い、里山公園が阿島区の皆さんの手で
広域農道・加々須大橋北側に整備されました。

3月8日には、最後の作業として桜の植樹作業が行われました。

今月号の主な内容

■ 広報たかぎ

- ・携帯電話不通話地区解消…………… 2面
- ・次世代新名称「くりんネットたかぎ」… 3面
- ・オフトーク放送終了延期…………… 3面
- ・中国帰国者センター閉所式…………… 3面
- ・新エネルギービジョン作成…………… 4面

- ・風景写真コンテスト結果 …… 6、7面
- 健康アップPPK …… 8面
- 学校だより 第二小 …… 9面
- 交流センター便り …… 10面
- 社協・ひなたぼっこ …… 11面
- くりんネットたかぎ …… 12面

2008

4

April



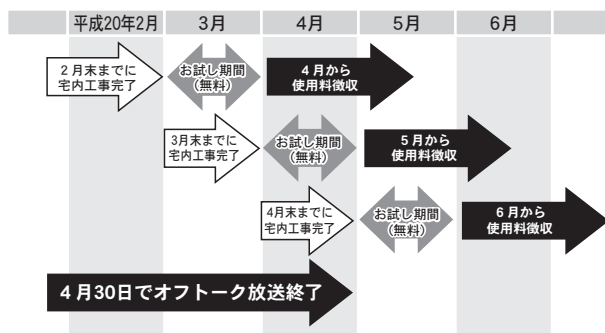
村の人口 6,724人(-4)
男 3,261人(-2)
女 3,463人(-2)
世帯数 2,052戸(-2)
(平成20年3月1日現在)

オフトーク放送終了延期
3月31日 → 4月30日
使用料徴収開始も一部家庭で変更

平成十九年一月から皆さんにご利用いただいたオフトーク放送が、次世代ネットワークの音声告知放送に更新されることから、「オフトークたかぎ」という名称も新しくしようと言うことで、二月から新名称を募集してきました。三月三日に名称決定の選考会が開催され、応募十八点の中から新名称に「くりんネットたかぎ」が選ばれました。村花

オフトーク放送から次世代ネットワーク音声告知放送への切替時期を、四月一日として事業を進めてきましたが、今年に入って降雪が続きました。引き込み工事が遅れたことや、宅内工事が不在による日程調整困難世帯が多くなっている等の理由により遅れが出ています。このことから、オフトーク放送の放送終了時期を一ヶ月延期し、四月三〇日とすることにしました。

別表1 宅内工事完了と使用料徴収開始時期



現在、宅内工事の終了家庭は三五〇世帯程度(三月三十一日現在)となっております。三月に入り工事の実施件数は延びてきていますが、工事日程確認の連絡が取れない家庭が多くあり、調整遅れによる工事未実施家庭の解消が課題となっております。早期の工事完了に向け、ご協力をお願いします。

オフトークから「くりんネットたかぎ」へ
次世代ネットワーク名称決定
のくりん草と新しいネットワークを合わせた親しみやすい名称となっております。また、新にテレビ画面を使い放映が始まる行政文字放送の愛称も応募名称の中から選定され、「いち5チャンネル」とすることにしました。こちらは村の特産のいちごと、行政放送がアナログ5チャンネルに設定されることからの命名となっております。

長野県中国帰国者自立研修センター
喬木教室閉所式

中国帰国者に日本語や日本の生活習慣を教える目的で平成六年に開設された中国帰国者自立研修センターが2月をもって当初の役割を終え、閉鎖されました。



当初は厚生労働省から運営委託された財団法人中国残留孤児援護基金が、中国帰国者定着センターとして運営を行ってきました。平成十三年に帰国者減少を理由に閉鎖されましたが、引き続き長野県日中友好協会により中国帰国者自立研修センターとして今日まで帰国者の生活支援、帰国者同士の交流の拠点として利用されてきました。

情報格差のなから村づくり

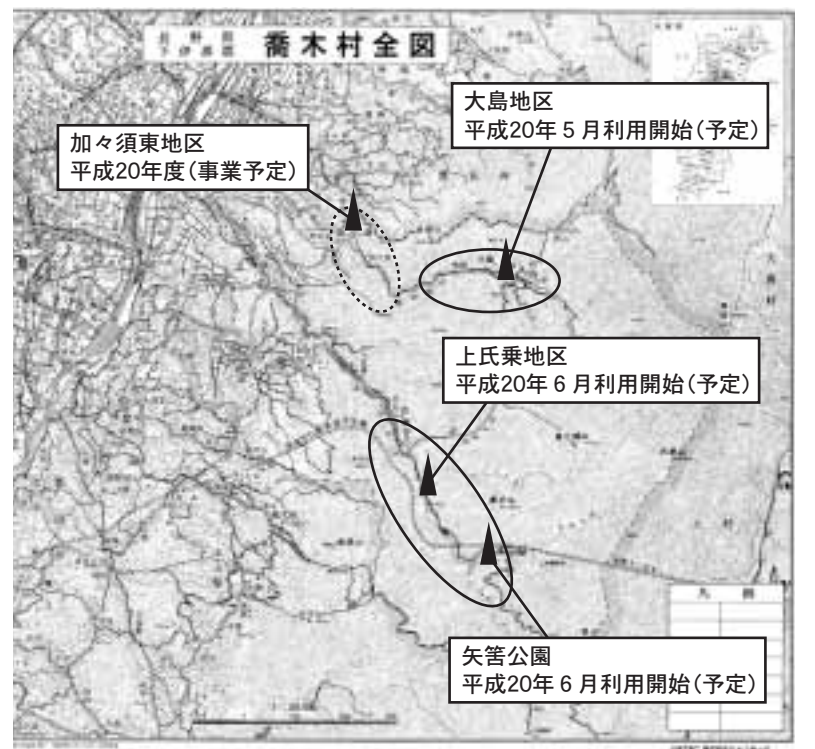
携帯電話 不通話地区が解消

村が平成十九年度で取り組んで来た次世代ネットワーク事業では、オフトーク放送に代わる音声放送の更新に併せ、高速インターネットやテレビの地上デジタル放送を、村内どこに住んでいても利用できる環境を整備することを目的に工事を行いました。この次世代ネットワーク事業とは別に、村では携帯電話鉄塔整備も本年度取組を行い、大島地区に一箇所携帯電話用の鉄塔を建設しました。この事業は、携帯電話不通話による情報格差を是正することを目的に認められる起債事業(辺地事業債)を活用したもので、完成後はNTTドコモが鉄塔を使用し、サービス提供することになります。



大島地区に村が建設した携帯電話の鉄塔

今年度は大島地区の他、氏乗地区にも二箇所(上氏乗・矢筈公園:いずれもNTTドコモ)携帯電話の鉄塔が整備され、大島地区は今年五月、氏乗地区は六月からの利用開始を目標に接続工事が行われ



社会では情報通信も重要な社会基盤として認識されています。団塊世代の大量退職時代を迎え、日本中の自治体が第二の故郷として名乗りを上げ、移住先として整備を行っていきます。村でもクラインガルテンの建設に向け検討を進めている他、工場誘致や新たな産業構築に向け対策が急がれています。全村で利用できる情報通信基盤を有効に活用し、新たな村づくりへの提案が期待されます。

情報通信基盤を活かした新たな村づくり

以前の基盤整備と言えば、道路や農地、上下水道と言ったものの整備でしたが、現代

喬木村地域新エネルギービジョンが 策定されました

八月に発足した喬木村地域新エネルギービジョン策定委員会において、中学生・住民アンケート調査、村内の新エネルギー賦存量、使用量などの調査をし検討を行いました。その結果、村で導入可能な新エネルギー導入プロジェクトとしてどのようなものが考えられるか、一定の方向ができましたのでお知らせします。

導入が期待できる新エネルギー

おひさまエネルギーの導入拡大

喬木村の平均日射量は日本でも良好な日射条件で知られる宮崎市に近い値になっており、こうした恵まれた日射条件を活かし、太陽光発電システム・太陽熱利用機器の導入が考えられます。特に公共施設等への率先導入は太陽エネルギーへの意識や認識を深めてもらうために必要と思われれます。



森林エネルギーの導入拡大

村の総面積の八割を占める森林資源や木質パレットの入手が容易である条件を活かし、森林バイオマスエネルギーの導入が考えられます。公共施設、一般住宅への薪ストーブ、ペレットストーブの導入、農業ハウスへの木質ボイラーの導入などの利用拡大、薪需要者と山林所有者を結びつける仕組みなど、地域資源の活用方策を検討します。



その他の新エネルギー導入促進

マイクログ水力発電について、キャンプ場や鳥獣害防止用の電気柵などの目的に絞り、河川の流量など調査・検討をします。

また、クリーンエネルギー自動車については、日常生活での自動車の使用頻度が高いため、新エネルギー導入効果は高いものと考えられます。公共施設での購入を検討します。



省エネルギーの推進

地球温暖化対策を推進するには、ガソリン、灯油など化石燃料や電力の使用量を削減することが重要です。将来を担う保育園、小中学生への環境教育に取り組むことや、家庭での省エネルギーへの取り組みを推進していきます。



4月の結婚相談日

○日時 四月十二日 土曜日
午後七時三〇分～午後九時

○場所 喬木村老人福祉センター 第一会議室

※相談日に関わらず、随時左記にて結婚についてのご相談を受け付けております。

○お問い合わせ 喬木村役場 住民課福祉係 担当：市瀬 電話：3315123



窓口での本人確認にご協力お願いします

戸籍法・住民基本台帳法の一部改正により、四月一日から住民票や戸籍謄本などの交付申請時に、運転免許証や保険証などによる本人確認をさせていただきます。

個人情報の保護と不正請求防止のため、お手数ですが申請の際は、印鑑と本人であることを確認できる書類を必ずご持参下さい。

*詳細については、別紙チラシをご覧ください。

○お問い合わせ 喬木村役場 住民課戸籍担当 電話 3315124

納期限	口座振替日
国保税(12期)	3月25日 ◎口座振替の方は預金の残高確認をお願いします。
介護保険料	
保育料	
上下水道料	

3月31日

平成20年度 国税専門官 受験者募集

人事院・国税庁では、「国税専門官採用試験」の受験者を募集しています。

受験資格等は次のとおりです。

○受験資格

①昭和五十四年四月二日から昭和六十二年四月一日生まれの者

②昭和六十二年四月二日以降生まれの方で次に掲げるも

長野県下では、自転車乗用中の死亡事故が増えています

緊急警報 自転車乗用中の交通死亡事故多発!

長野県警では、自転車乗用中の交通死亡事故の多発を受けて、2月28日に「緊急警報」を発表しました。

春・新入学シーズンを迎え、3月から4月にかけて自転車事故の多発が予想されます!

過去5年の統計でも、3月から自転車事故は増加(過去5年の統計から)しています。

平成18年中に車外放出で死亡した全死者がシートベルト非着用

大切な家族を守りましょう!

①後部座席シートベルトの着用
②聴覚障害者の普通免許取得(規制緩和)
③高齢運転者標識(もみじマーク)の表示義務(75歳以上)

などの新たな義務化が行われますので十分注意してください。

平成18年中に車外放出で死亡した全死者がシートベルト非着用

なお、既に義務化されている飲酒運転(自転車も含まれます)をするおそれのある者に対する車両提供や酒類提供者の検挙者も飯田警察署管内で発生しています。

歓送迎会シーズンですので、自分自身、自分の家族を守るためにも飲酒運転は絶対にしないでください。



新エネルギー導入のポイント

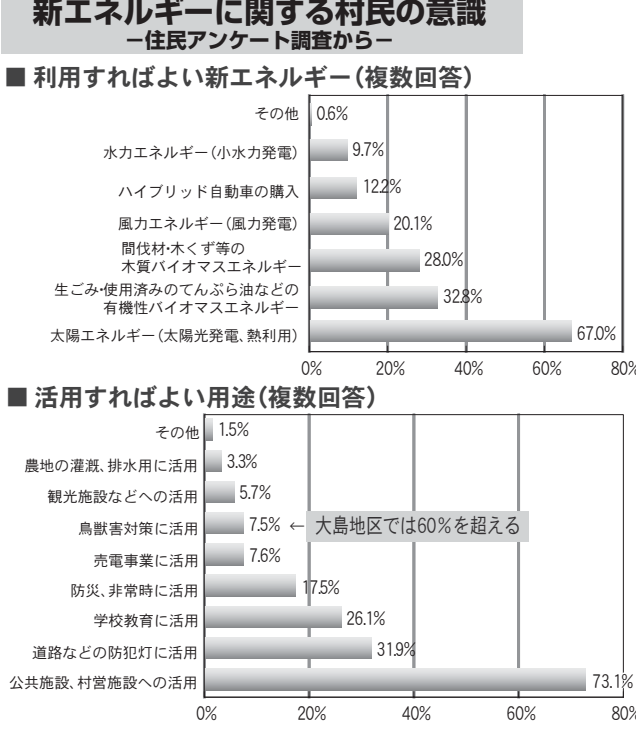
- 豊かな森林資源や恵まれた日照条件などの身近にある自然エネルギーを活かす
- 公共施設等への先導的導入とともに、村民参加の体制・仕組みづくりを進める
- 飯田・下伊那など他地域との広域的な連携の中で、新エネルギーの導入を図る

新エネルギー導入の基本方針

身近な自然と村民参加・広域連携による新エネルギーの導入

新エネルギー導入プロジェクト

プロジェクト1 おひさまエネルギーの導入拡大
プロジェクト2 森林エネルギーの導入拡大
プロジェクト3 その他の新エネルギー導入促進
プロジェクト4 省エネルギーの推進



不要になったアンテナの処分 5月に計画します

村では、次世代ネットワークのケーブルテレビ導入に伴い、各家庭で不要になるテレビ受信アンテナの処分を5月に計画しています。

詳細については、来月の情報誌でお知らせします。

平成二十一年 歌会始のお題 「生」と

定められました。

九月二十日までに問い合わせてください。

宮内庁ホームページ <http://www.kunaicho.go.jp/12/d12-08.html> を御参照ください。



入選 飯田市 河村弘久様
「氷瀑」



優秀賞 喬木村 栗沢貴子様
「アッししが来た」

小牧市
丹羽明仁様
「絶景」

入選



入選 喬木村 筒井政美様
「学び坂」



入賞者の皆さん

まいがちです。しかし、目を凝らして見てゆくと住民に対しての優しさが見えてきます。広い整備された道路とその脇の四季を彩る花々。老人や子供や体の不自由な人に優しい歩道また交差点の行き届いた気配り。もちろん、大切にしている川や滝や田の畦まで。などなど。こうした風景にも訪れた人々が目を向けてほしいと思っていました。今回作品を応募された方々のかにも、普段喬木村の住人として日常を撮り続けていられると思われの人が多く、本当にうれしく思いました。

撮影技術的には今一步の感を残すものの、撮影者の喬木村に対する愛情の深さはしみじみと感ることができました。いい写真を撮ろうとは思わないでください。今の喬木村の本当の姿を残しておこうと考えてください。そうすれば喬木村の持つ風景や人の優しさが自然と写り込んでくるものです。

2007 喬木村風景写真コンテスト



特賞 喬木村 城下圭一様
「夕暮せまる」

第十二回目を迎えた喬木村風景写真コンテストの表彰式が三月三日に行われました。県内外から十三人計三十一人の作品が寄せられ、全作品を一月五日から一月三十一日まで椋鳩十記念図書館村民ギャラリーで展示をしました。その後二月に審査を行い、十の作品が選ばれました。入賞作品は、三月十日から二十一日まで、長野市にある

長野県自治会館エントランスホールで展示を行います。普段見慣れた風景もレンズを通してみると新鮮に感じるのではないのでしょうか。平成二十年度も引き続き風景写真コンテストを実施します。心に残る風景、感動する自然、喬木村には四季を通して多くの被写体があります。みなさんからの応募をお待ちしております

審査結果講評

長野県写真連盟 南島 孝

今年も十三人計三十一人の応募がありました。毎年、喬木村の良さを再認識しております。私も撮影のためにずいぶん喬木村へ出かけるのですが、喬木村は大きく分ければ二つの風景を持っています。一つは地方都市飯田市の周辺として発展している商工業を中心とした風景、もう一つは伊那谷の原風景です。そのどちらも魅力的な被写体なのですが、観光客として訪れた場合には、どちらの多くも日常の風景として認識されてし

2007喬木村風景写真コンテスト入賞者

- 特賞** 喬木村 城下 圭一 様 「夕暮せまる」
- 優秀賞** 喬木村 栗沢 貴子 様 「アッししが来た」
- 入選** 飯田市 河村 弘久 様 「氷瀑」
- 入選** 喬木村 筒井 政美 様 「学び坂」
- 入選** 小牧市 丹羽 明仁 様 「絶景」
- 特別賞 (村長推薦)**
 - 喬木村 仲田 昭二 様 「夕日の阿島橋」
 - 喬木村 原 一 様 「とろりん公園の朝日」
 - 喬木村 牧内三津子 様 「満開」
 - 喬木村 牧内三津子 様 「蝶遊泳」
 - 喬木村 矢田 和義 様 「七月の朝」